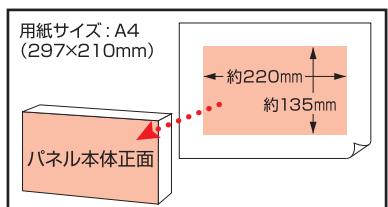


オールインワン ファブリックパネルの作り方

「布デコシール」の印刷

はじめに付属のテストプリント用紙で印刷して仕上がりのイメージをつかんでから本印刷をしてください。※組立て手順の1を参照してください。※テストプリント用紙は表裏がありませんので、どちらの面でもテスト印刷していただけます。



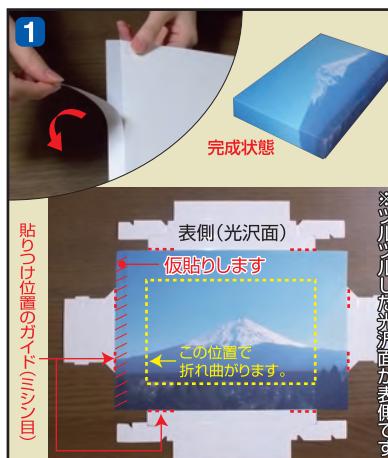
パソコンで自由にデザインして「布デコシール」にインクジェットプリンタで印刷します。
※パネル本体の正面サイズは約135×220mmです。



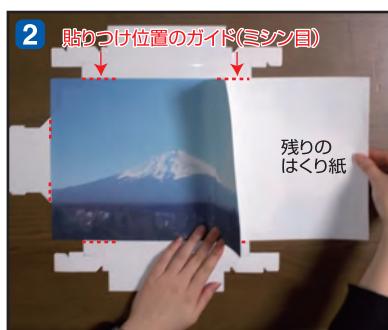
「布デコシール」の印刷面(ザラザラした面)に印刷してください。

※給紙方式のご注意
給紙の際に用紙が鋭角に曲がる機種(前面給紙プリンタ等)ではご使用いただけない場合があります。

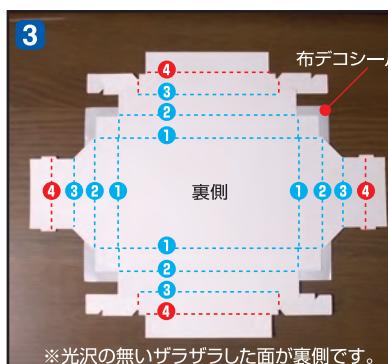
「パネル本体」の組み立て



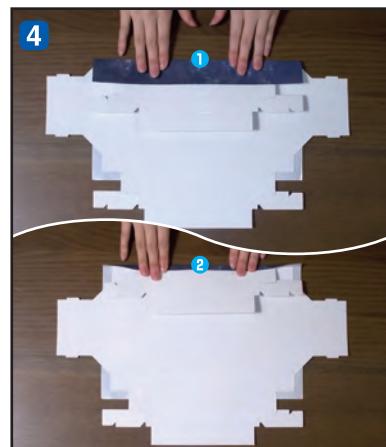
印刷された「布デコシール」の裏面のはくり紙の細い部分だけをはがします。はくり紙をはがしたところをガイド(ミシン目)に添わせて仮貼りします。(8カ所のミシン目が全て見える状態に貼ります。)
※「布デコシール」の粘着面が少しはみ出する部分が出てきますので作業中は下に紙など、付きやすい物を置かないように注意してください。



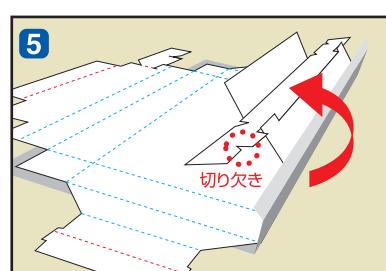
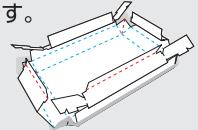
残った方のはくり紙を徐々にはがしながらゆっくりと「布デコシール」をガイド(ミシン目)に添って貼りつけていきます。
※シワや気泡ができるないように、はくり紙を徐々にめくりながらゆっくり貼りつけてください。



はじめに①②③④の順で全ての折り線に折り癖をつけます。
※裏側から見て図の赤の破線で示している箇所を「山折り」、青の破線で示している箇所を「谷折り」にします。
※貼りつけた「布デコシール」ごと折ります。



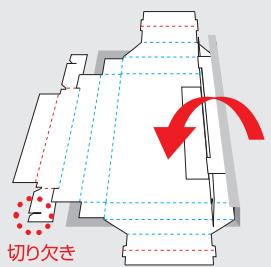
折り癖が全て完了した状態です。



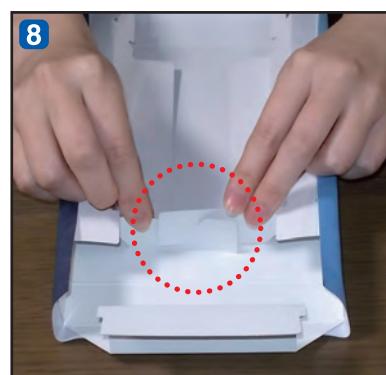
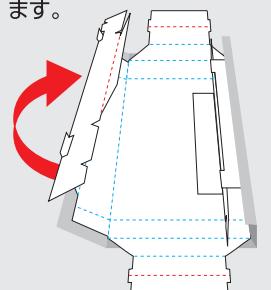
ここから組み立てです。4側面ある内の「切り欠き」がついている側面から内側に巻き込むように折り込んで起こします。



片側を起しきると図のような形になります。



反対側も同じように起こします。



左右の「切り欠き」部分を合わせて差し込み、噛み合わせてロックします。

※反対側も同じように噛み合せます。

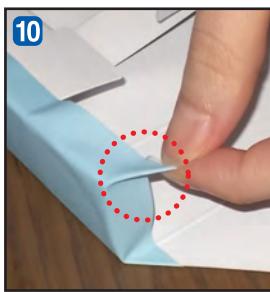


簡単!

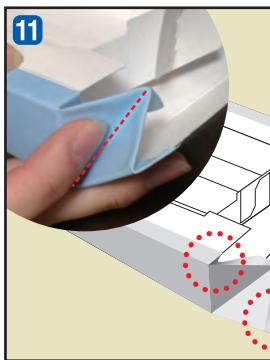
「布デコシール」に印刷して「ファブリックパネル」に貼りつけます。
パネルを組み立てたら「くりびたフック」に吊り下げて飾ります!



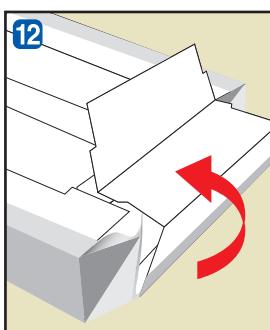
残りの2側面を折り込んで起こします。前準備として手順9の点線の円で示した「布デコシール」のはみ出し部分を内側に折り込んでパネル本体に貼りつけておきます。



続いて点線の円で示した「布デコシール」のはみ出し部分を手順10のように指でつまんで貼り合わせておきます。
※手順9、10の作業は下の完成写真のように仕上げるために重要です。これをしないと悪い例のようになります。



※反対の角も手順9、10の作業をしておきます。角の部分を内側に折り込みながら側面を起こします。その時、破線で示した部分を谷折りに押し込みながら、また、点線の円で示した部分を図のように内側に折り込みながら起こして行きます。



図のように角の部分にかぶせるように折り込みます。



かぶせるように折り込んだら、左右の突起部分を下角のすき間に差し込んで固定します。

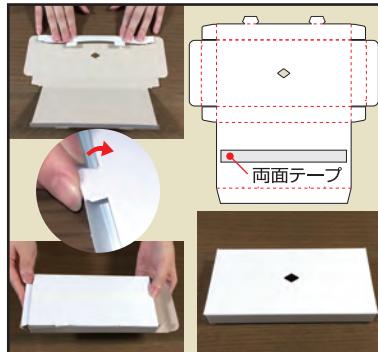


※反対側も手順9～12をくり返します。



「パネル本体」の完成です。
※赤の点線で示した部分は浮いていてもかまいません。後で「フック用ケース」と合体する時に両面テープで固定されます。

「フック用ケース」の組み立て



次に「フック用ケース」を組み立てます。

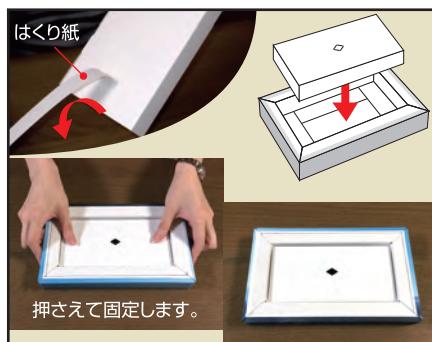
※表側から見て図の破線部分を全て「山折り」にして折り曲げます。

二力所ある爪部分を差し込みます。

次に左右のふた部分を閉めて箱形にします。

これで「フック用ケース」の完成です。

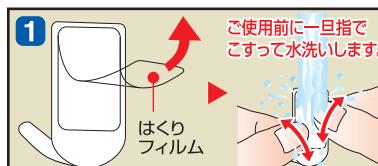
「パネル本体」と「フック用ケース」の合体



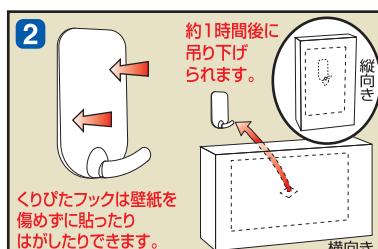
「フック用ケース」には予め両面テープが貼ってあります。はくり紙をめくり、「パネル本体」に「フック用ケース」を挿入して両面テープ部分を密着させて固定します。

※菱形の穴(フックを差し込む穴)が見えるように挿入します。

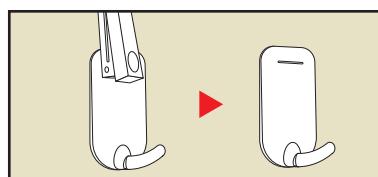
「くりびたフック」の取りつけ



フック背面の粘着面から、はくりフィルムをはがします。
※フィルムをはがしたら一旦粘着面を指でこすってよく水洗いし、十分に乾燥させてください。

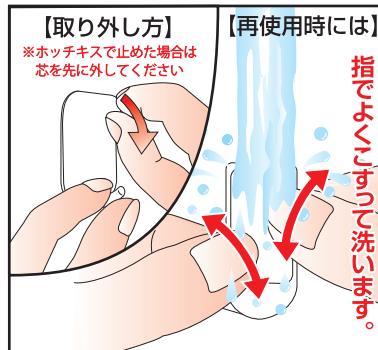


取り付ける面に30秒くらい強く押しつけ、全体をしっかりと密着させます。フック貼り付け後、1時間ほど経ってからパネル裏面の「フック用ケース」の菱形の穴をフックに差し込みます。ファブリックパネルは縦横どちら向きにも飾れます。



壁紙によってはフックの粘着が弱くなる場合があります。その際はフックをホッチキスでとめて使用することを推奨します。
※180°開くホッチキスでとめてください。

「くりびたフック」の取り外し



「くりびたフック」を取り外す場合は、引っ掛け部分を持ち上部の角の部分から、めくるように、ゆっくりはがします。

※壁面を傷める恐れがありますので、ゆっくりはがしてください。「くりびたフック」は、くりかえし利用できます。

再使用する際には流水(ぬるま湯)で粘着面を指でよくこすって洗います。ほごりがかかる場所で十分に自然乾燥させてから取り付けます。ドライヤーで乾かすことで、より粘着力が復活します。